



せんだん

山小学校のSUN・山・サン運動

SUN(太陽)のような明るい笑顔 山(やま)登りのように前進する目標 山(サン)キューという感謝の心

「コミュニティスクール」山小学校

校長 和田 哲也

新型コロナウイルス感染症については徳之島地区だけでなく全国的に感染者数が増加傾向にあり、引き続き予断を許さない状況が続いていますが、学校の教育活動はできるだけコロナ禍前に戻せるように努めております。

山地域での地域行事やそれに向けての会合においても、コロナ禍前のような賑わいが復活しつつあり、「これぞ山地域！」というのを実感できるような場面に居合わせることができているのではないかと思います。山地域の伝統と住民の方々の郷土愛に触れ、まさに「山スピリット(魂)」ここにあり、といったところです。

子供たちも地域のイベントに参加することで、自分たちのふるさとのすばらさや、大人の方々の郷土愛を通じた結束力を実感したことでしょう。学校の教育活動でも育んでいきたい心情ですが、地域の方と地域行事に参加し共に汗を流してこそ体に染み込んでいくものだと思います。

また、学校生活においても山地域のすばらしさを体感できることはたくさんあります。校舎裏の用水路には巨大ウナギが出現したり、中庭ではオカヤドカリの産卵が見られたりと子供だけでなく教職員も感動の連続です。子供たちが探求課題の解決に向けて学習活動を展開する「総合的な学習の時間」においては、「徳之島 游学PROJECT」の川口さん(手々在住)にご協力いただき、徳之島の自然に関するテーマをもった探究活動ができております。多彩なゲストティーチャーも訪れ、大変ありがたいことです。

先日は今年度1回目の学校運営協議会があり、子供たちの学習の様子を参観していただいた後に、本校の取組を説明し、地域のよさを生かした教育活動や地域の方々との交流活動の進め方について示唆をいただきました。9月の合同運動会においては地域種目を復活させ、子供たちと地域の方が触れ合う場面をつくりたいと考えております。よろしくお願いいたします。



巨大ウナギ(上)とオカヤドカリの産卵(下) 学校運営協議会時の授業参観

南日本新聞
令和5年
五月十日掲載

あまみ島頭大会
山小3年
坂本みなみ
あまみ大島のあまみパークで島唄の大会がありました。わたしはこの大会に向けて、2年生の5月から土曜日と月曜日に、自分ではれんしゅうして、入しようできればいいなあ、と思いました。でも、ほかの友だちの歌がとっても上手だったので、やっぱり自分にはえらばれないかもしないかなあと思っていました。

自分が歌う番になった時、きんちようして足がブルブルふるえていました。「いきゅんにやかな」を歌いました。大事な人のことをうたった少しかなしい歌です。歌っている時間がとても長く感じました。

いよいよよけつか発表の時、わたしは自分が歌う時よりもどきどきしました。中学生以下の部で、わたしの名前が2位で選ばれたのでびっくりしました。そして、はじめてのことだったので、すぐにくれしい気持ちになりました。

- 8月に東京である全国大会に行けることになりました。全国大会では、もっと気持ちをこめて歌えるようにれんしゅうしていきます。
- (徳之島町)
- 多読賞受賞**
- ☆ 移動図書館車貸出 小学校3年生の部(R4) 貸出冊数 110冊
 - 現4年 高野 麻理萌 さん
 - 現4年 玉城 湖華 さん
- ※ 昨年度の貸出冊数で多読賞を受賞しました。今年度も多くの本に親しみたいと思います。
- 【7月行事予定】**
- 6日(木) PTA危険箇所点検
 - 7日(金) 水泳学習発表会・学校保健委員会・学級PTA
 - 8日(土) 土曜授業
 - 11日(火) ハイビスカス号
 - 13日(木) 第1回青少年育成推進委員会山校区地区会議
 - 14日(金) 着衣水泳
 - 16日(日) 朝のボランティア清掃
 - 20日(木) 終業式・大掃除

歯と口の健康教室

6月9日(金)、歯科衛生士の松山真美さんと管理栄養士の真喜志有紗さんを講師として招き、歯と口の健康教室を実施しました。その中で、むし歯のできやすいおやつや正しい歯のみがき方など、詳しく教えていただきました。



むし歯は一度できると治療することはできません。むし歯予防のため、今後も歯みがき指導の充実を図っていきます。御家庭でも仕上げ磨きや歯磨きの声掛けなど、お子さんの歯と口の健康に気を付けていただけるとありがたいです。

【豊年祭】

6月11日(日)に山集落の豊年祭が行われました。子どもたちもはっぴ姿で神輿を担ぎ、豊作を祈りました。今年もよき1年となりますようお祈り申し上げます。



お知らせ

現在、15名の皆様にPTA賛助会員に御賛同いただいております。ありがとうございます。この賛助会費(1,000円)は、PTAの収入として計上し、主に本校の環境整備費として使わせていただいております。P戸数が少ないため、貴重な財源となっています。賛助会員については、一年を通して募集しています。趣旨を御理解の上、御賛同いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、池島ケイ子様から50,000円の御寄付をいただきました。あわせて御礼申し上げます。

一昨年度から南日本新聞の若い目に投稿を続けてきました。その取組が認められ、「若い目賞」を受賞しました(6月13日掲載)。6月には、高野麻理萌さんの作品も掲載(6月15日)されています。